

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年1月4日(2022.1.4)

【公開番号】特開2020-81402(P2020-81402A)

【公開日】令和2年6月4日(2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2020-022

【出願番号】特願2018-220710(P2018-220710)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 0 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月16日(2021.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1情報表示手段と、

第2情報表示手段と、

投入口から投入された遊技媒体が通過する通路中に設けられ、遊技媒体を検知し得る検知手段A、検知手段B、及び検知手段C（検知手段Bは、検知手段Aより下流側に位置し、検知手段Cは検知手段Bより下流側に位置する）と、を備え、

ベット数が「3」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、投入口から遊技媒体が投入される場合において、当該遊技媒体に対する検知手段Aと検知手段Bの検知結果が所定条件を満たすと、クレジット数に「1」を加算し得るよう構成されており、

ベット数が「3」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値をT1とし、

ベット数が「3」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、投入口から遊技媒体が投入される場合において、当該遊技媒体を検知手段Bが検知しなくなった時から、当該遊技媒体を検知手段Cが検知した時までの期間の設計値をT2としたとき、

T1 < T2となつてあり、

遊技区間として、第1区間と、第2区間と、を有し、

第2区間であつて、内部抽せん手段によって特定抽せん結果が決定された遊技では、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様が表示され得るよう構成されており、

第2区間であつて、内部抽せん手段によって特定抽せん結果が決定された遊技では、第2情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様が表示され得るよう構成されており、

最小遊技期間が経過している所定の状況下でスタートスイッチの操作が受け付けられて実行された内部抽せん手段によって特定抽せん結果が決定された第1の遊技では、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示された後に、第2情

報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示されるよう構成されており、

最小遊技期間が経過していない特定の状況下でスタートスイッチの操作が受け付けられて実行された内部抽せん手段によって特定抽せん結果が決定された第2の遊技では、第2情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示された後に、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示される場合を有するよう構成されている遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

第1情報表示手段と、

第2情報表示手段と、

投入口から投入された遊技媒体が通過する通路中に設けられ、遊技媒体を検知し得る検知手段A、検知手段B、及び検知手段C（検知手段Bは、検知手段Aより下流側に位置し、検知手段Cは検知手段Bより下流側に位置する）と、を備え、

ベット数が「3」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、投入口から遊技媒体が投入される場合において、当該遊技媒体に対する検知手段Aと検知手段Bの検知結果が所定条件を満たすと、クレジット数に「1」を加算し得るよう構成されており、

ベット数が「3」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値をT1とし、

ベット数が「3」であり、クレジット数が所定値（所定値はクレジット数の上限値未満の値）である状況にて、投入口から遊技媒体が投入される場合において、当該遊技媒体を検知手段Bが検知しなくなった時から、当該遊技媒体を検知手段Cが検知した時までの期間の設計値をT2としたとき、

T1 < T2となっており、

遊技区間として、第1区間と、第2区間と、を有し、

第1区間であって、内部抽せん手段によって特定抽せん結果が決定された遊技では、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様が表示され得るよう構成されており、

第2区間であって、内部抽せん手段によって特定抽せん結果が決定された遊技では、第2情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様が表示され得るよう構成されており、

最小遊技期間が経過している所定の状況下でスタートスイッチの操作が受け付けられて実行された内部抽せん手段によって特定抽せん結果が決定された第1の遊技では、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示された後に、第2情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示されるよう構成されており、

最小遊技期間が経過していない特定の状況下でスタートスイッチの操作が受け付けられて実行された内部抽せん手段によって特定抽せん結果が決定された第2の遊技では、第2情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示された後に、第1情報表示手段にストップスイッチの有利な操作態様に関する情報が表示される場合を有するよう構成されている遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定され

ることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

複数のリールと、

スタートレバーと、

ベットボタンと、

メダル投入口と、

所定のエラー状態を解除可能なエラーリセットボタンと、

エラーリセットボタンのオン・オフを検出可能なエラーリセットボタンセンサと、

内部抽せん手段と

を備え、

エラーリセットボタンがオンである状況においては、スタートレバーの操作の受け付けが無効であり、ベットボタンの操作によってはベットされず、メダル投入口からの遊技メダルの投入によってはベットされ得るよう構成されていることを特徴とする遊技機である。